

檜葉町ゼロカーボンシティ宣言

檜 葉町は、東日本大震災とその後の原発事故により全町避難した町です。それから10年、私たちは世界中からのご支援をいただきながら、大きなマイナスからの道を一步ずつ進んできました。町民とともに力の限りを尽くし、今日の復興を成し、今まさに、ゼロからプラスの方向へ飛躍する転換の時を迎えました。

これまでの支援に深く感謝し、今後は私たち自身が世界の未来に貢献していく決意です。

近 年、世界各地では地球温暖化が原因とみられる異常気象による災害が多発しており、二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることは、世界が協力して取り組むべき課題として広く認識されはじめています。

原 発事故を経験した町だからこそ、私たちは環境の尊さを知っています。環境に負荷の少ないエネルギーの需要と供給の好循環をつくりだすこと、そして、町民の理解と協力により環境にやさしい暮らしがこの町に根づいていくことによって、檜葉町は持続可能なまちづくりにチャレンジします。

地球の、そして、私たちが再び取り戻すことのできた、かけがえのない故郷の環境を未来の世代へつなぐため、檜葉町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に挑戦することをここに宣言します。

今 後は、次の項目を柱とした具体的な方策を検討し、町の重点施策である、教育・農業・健康の各分野と連携した取り組みを推進することにより、町ぐるみで脱炭素社会の構築にチャレンジしていきます。

1 再生可能エネルギーの推進

地域と共存できる再生可能エネルギーをつくり、蓄え、使うことにより、環境と産業との間に好循環を生み出します。

2 省エネルギーの推進

町民一人ひとりがやさしく丁寧に暮らすことにより、環境負荷の削減につなげます。

3 SDGs達成への取り組み

誰もが安心してこの地に暮らし続けることのできる社会の実現を目指します。

令和3年3月7日

檜葉町長

松本 幸英